

故・南部忠平氏 年譜

和暦	年・月	概要
明治	37・05	札幌市中央区南2条西1丁目6番地において生まれる。
大正	06・03	札幌中央創成尋常高等小学校を卒業。
大正	12・12	全国中学陸上選手権大会（東京駒場）に初出場、100m、200m、三段跳、走幅跳の四種目に優勝。
大正	13・03	北海中学（現北海高校）を卒業。
大正	13・04	パリ・オリンピック国内予選の三段跳で13m40の記録を出し当時の第一人者織田幹雄を破る。
大正	14・11	第2回明治神宮大会に北海道青年団代表首相として出場、100m、走幅跳に優勝（800mリレーのアンカーでトップになり北海道が逆転の団体優勝）
大正	15・04	早稲田大学専門部に入学、競技部に入部。
昭和	03・07	第9回オリンピック・アムステルダム大会に初出場、三段跳で3位に入る。
昭和	04・04	早稲田大学商業科を卒業し、南満州鉄道株式会社に入社
昭和	05・05	第8回極東大会（東京）に出場、100m 3位、走幅跳で優勝
昭和	06・10	神宮競技場で行われた一般対学生陸上競技大会走幅跳で7m98の世界新記録をつくる（現在でも日本歴代15位の成績）
昭和	07・06	毎日新聞大阪本社運動部勤務
昭和	07・08	第10回オリンピック・ロサンゼルス大会に出場、三段跳で世界・オリンピック新記録15m72で優勝、走幅跳3位で、金と銅メダルを獲得、また400mリレーでも5位入賞
昭和	14・06	ブラジルにコーチとして招かれ、日本とブラジルの親善に尽くす
昭和	34・04	日本体育協会会賓となる、毎日新聞大阪本社退職
昭和	35・11	大阪市民文化賞を受賞
昭和	36・04	東京オリンピック強化副本部長に就任
昭和	36・11	陸上競技の発展と体育の進捗に貢献した功績により紫綬褒章を受賞
昭和	39・10	東京オリンピック大会日本代表陸上競技監督に就任
昭和	40・04	日本陸上競技連盟審議員に就任 体力づくり専門指導員として北海道嘱託となる
昭和	41・04	北海道女子短期大学教授に就任
昭和	42・04	京都産業大学教授に就任
昭和	44・09	北海道のスポーツ振興と青少年健全育成に尽くした功績により北海道開発功労賞を受賞
昭和	57・04	鳥取女子短期大学学長に就任
昭和	58・06	オリンピックオーダー賞受賞（過去の功績並びに功労による）
昭和	59・04	北海道女子短期大学名誉教授となる
平成	03・05	関西北海道倶楽部名誉会長、社団法人大阪スポーツマンクラブ会長に就任
平成	04・03	鳥取女子短期大学学長退任
平成	05・05	勲三等瑞宝章を授章
平成	09・04	北海道体力づくり専門相談員となる
平成	09・07	93歳で死去
平成	09・09	正五位に叙せられる
平成	30・12	世界陸連 ヘリテージプラーク 受賞

出典：「北海道開発功労賞・受賞に輝く人々」、南部忠平著「私のスポーツ人生」から一部省略して掲載